

図 1-I-17 流下式の例

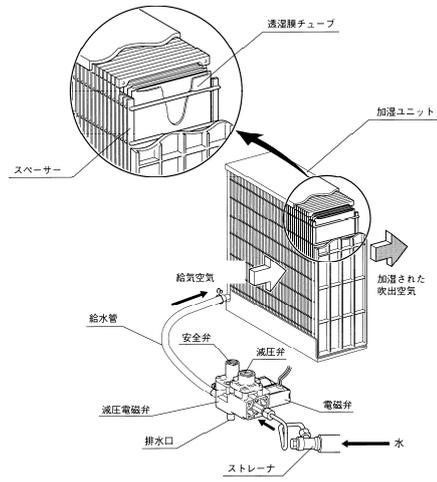


図 1-I-18 膜式の例

6) 自然蒸発式加湿器

ドレンパン	
点検・保守頻度	運転期間で判断。
点検方法	<p>カセットの場合：点検口より加湿器本体カバーを外し、エレメント押さえを外して脱着し、ドレンパン清掃。</p> <p>ダクトの場合：点検口より加湿器チャンバー横の点検蓋をあけエレメント脱着し、ドレンパン清掃。</p>
保守方法	<p>(1) 加湿エレメントと給水ドレンパンを取り外す。</p> <p>(2) 給水ドレンパン内の水を捨てる。</p> <p>(3) 清水を内部に流し込んで、洗う。</p> <p>(4) 給水ドレン内清掃後、元通りに取り付ける。</p>

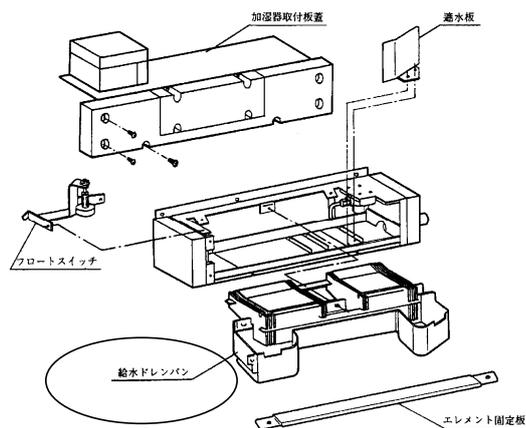


図 1 - I - 19 自然蒸発式加湿器の例

7) 蒸発式加湿器

蒸発槽	
点検・保守頻度	運転期間で判断。
点検方法	<p>(1) 蒸発槽を取り外す。</p> <p>(2) 蒸発槽内の水を捨てる。</p> <p>(3) 清水を内部に流し込んで、洗う。</p> <p>(4) 蒸発槽清掃後、元通りに取り付ける。</p>
保守方法	スケール除去清掃

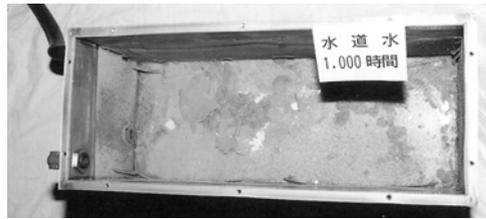


図 1-I-23 蒸発槽内のスケールの堆積

8) 超音波加湿器

超音波加湿器	
点検・保守頻度	水槽の汚れ、ストレーナのつまり状況で判断。
点検方法	(1) 運転スイッチを停止にし、電源を切る。吸い込みグリルを開ける。 (2) 加湿器のフタをはずすと水槽及び振動子が見える。 (3) 水槽・振動子の汚れ、ストレーナのつまりを点検する。
保守方法	マニュアル記載の保守周期で、振動子、フロートスイッチを刷毛などで清掃 汚れがひどい時は清掃の頻度を高くする。シーズン始めや終わりにも清掃 を行う。汚れた水はゴム栓を抜いて排水し、清掃後はゴム栓をしっかりしめる。

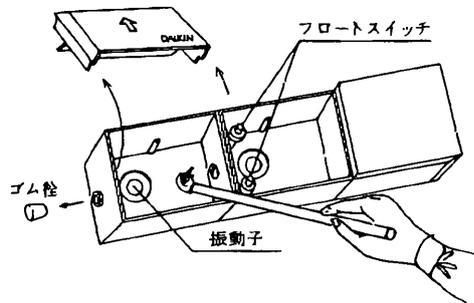


図 1-I-20

9) 加湿器ストレーナ

加湿器ストレーナ	
点検・保守頻度	運転期間で判断。
点検方法	(1) 給水弁を閉じる。 (2) 給水入りロストレーナのキャップをゆるめる（水が出てくるので、バケツなどで受け、水がこぼれないようにする）。 (3) ストレーナ内部のエレメントを取り出して、清掃する。 (4) エレメントの清掃後、元どおりに取り付ける。
保守方法	水洗浄、清掃。